

平成23年度 企業間等連携支援事業（Aタイプ） 会津漆器協同組合（福島県）



「育て次世代《JAPAN》の匠連携プロジェクト」

【事業目的】

会津漆器協同組合では「技術後継者訓練校」を福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター内に設け後継者の育成を行っている。

このような人材育成・技能教育や大学・短期大学における漆芸の教育研究が全国で行われているが、殆ど横の繋がりが無く、それぞれの地域のみで行われている。

本事業により、それぞれが交流することにより互いに認識を深め、よりレベルの高い育成を目指す。

【事業実施状況】

- 「漆に係る人材育成」シンポジウム開催(参加者35名)
日時：平成23年11月8日（火）14：00～16：30
場所：会津若松技術支援センター 多目的ホール
 - ・コーディネーター
会津漆器協同組合 理事長 小沼 一夫
 - ・パネリスト
八幡平市安代漆工技術研究センター 副主幹 富士原 文隆
会津大学短期大学部 准教授 井波 純
東京藝術大学漆芸研究室 講師 青木 洋介
株式会社ニ・フ・プロジェクト 代表取締役 田代 早苗
- 展示会開催
会期：平成23年11月8日～11日
会場：会津若松技術支援センター 交流スペース
⇒会津漆工技術研究センターより5名25点
⇒会津漆器技術後継者訓練校より12名50点

【成果・今後予想される事業効果】

（シンポジウム）

立場の異なる4名のパネリストとコーディネーターより話題提供とディスカッションが行われた。

それぞれの機関・学校での人材育成の取り組みや特徴、問題点、今後の方向性、卒業後のフォローアップについて議論した。これにより効果的な運営や新たな事業方針のヒントを掴むことが可能になり、新たな動きが東北から生まれることが期待される。

（展示会）

同じ漆器ではあるが、産地などによりその工程や技法がだいぶ異なる。そのような技術的差異の発見の場となり、会津漆器技術後継者訓練校のOBや現役の訓練生にとって大きな刺激となった。